

SENDAI  
INTERNATIONAL  
MUSIC  
COMPETITION

for Violin & Piano



第6回仙台国際音楽コンクール ボランティアニュース

コンチェルト

# Concerto



第6回仙台国際音楽コンクール

ヴァイオリン部門：2016.5.21(土)～6.5(日)

ピアノ部門：2016.6.11(土)～6.26(日)

Vol.6-1

(2015.3.18発行 第6回コンクール関連 第1号)

## インタビュー 神谷未穂さん (仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター) ～第6回仙台国際音楽コンクールへ向けて～

仙台フィルのコンサートマスターをはじめ、ソロ、室内楽等の演奏活動に活躍されている神谷未穂さんにお話を伺いました。

**仙台フィルのコンサートマスターに就任されて、もう5年ですね。あつという間でしたね。仙台フィルは雰囲気がとても良く、自然に挨拶が交わされるコミュニケーションが活発で、仕事がとてもスムーズに進みます。プログラミングの良さに加えて、パスカル・ヴェロさん、小泉和裕さん、山田和樹さんという一流の指揮者に恵まれているのも仙台フィルの魅力だと思います。2012年からはもう一人コンサートマスターとして西本幸弘さんを迎えて、精神的な余裕が生まれています。**

### 子育てと音楽活動の両立はどうされていますか？

演奏活動で旅行が多く、ベビーシッターさん、保育園の皆さん、母など本当に沢山の方の力に頼っています。現地のスタッフの方に絶対連れてきてねと言われて、沖縄にだけは息子を連れていくようになりました。まだ生まれて1歳と7ヶ月ですが、沖縄は次で6回目！です。

### 前回(第5回)のコンクールは客席からの観賞でしたが、感想はいかがでしたか？

ちょうどコンクールの時にお腹が大きかったのです。客席で聴いていた時もお腹がすごく動いていたのですが、良い胎教になりました。仙台のコンクールは必ず温かい拍手が起こって、ブラボーの掛け声もかかりますし、ボランティアの皆さんの温かい応援があります。出場者の皆さんも他のコンクールより気分的にずっと楽ですし、のびのびした自分の良さが出せたのではと思います。自分のオーケストラを褒めるのも何ですが、仙台フィルはホストオーケストラとして素晴らしいと大きな拍手を贈りました。

### 印象に残った出場者はいましたか？

1位のリンさんは、ファイナルを聴けなかったのが残念です。でも、昨年12月にサン＝サーンスのコンチェルトを共演することができ、すごく真面目で紳士的な演奏であると感じました。きちんとしていてミスがないところが、コンクールを受ける上で強みになったのだなと実感しました。成田達輝さんは音楽の質の高さがすごいと思いました。一音で音楽の世界に聴衆を連れていってしまうような力があつたと思います。あと、前々回のコンクールにも出場されたキム・ボムソリさん。複数回チャレンジしてもらえたのは、仙台のコンクールの素晴らしい証といえますね。

### 今年1月に第6回仙台国際音楽コンクールの概要が発表され、ヴァイオリン部門では、堀米ゆず子さんが審査委員長に就任されました。審査委員の皆さんに、どんな印象をお持ちですか？

堀米ゆず子さんとは加藤知子さんは私の師匠でもある久保田良作先生門下の花形スターで、子供の時から憧れていました。堀米さんはブログもすごく面白くて、意見をはっきりお持ちの方だと感じます。副委員長の堀正文先生は名コンサートマスターなので、そんな方が客席で聴いていると思うと、ある種の緊張感が生まれそうです。



神谷未穂

(略歴)

桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学、ハノーファー音楽大学を共に首席卒業。更にパリ国立高等音楽院最高課程を修了。ソリスト、室内楽奏者として活発な演奏活動を行なう。

2010年、仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターに就任。アウトリーチ活動にも力を注いでいる。

そして何を置いても「クレーメルさんが本当に来てくれるの！」と驚きました。また、今回ピアノ部門の副委員長のヴィルサーゼさん。去年、霧島の音楽祭で初めて共演させていただいたのですが、名教師でありながら、ピアニストとしても世界のトップだと実感しました。

### 第6回の課題曲全体を見て、第5回と比べてどんな印象、感想をお持ちですか？

コンチェルトを1日に2回、しかも連続して弾くというのは、曲想の切換え等、どんなに慣れている演奏家にとっても大変なことだと思います。次回のコンクールはかなりハードルが上がっているという印象を受けます。セミファイナルの課題曲、シューマンのコンチェルトは皆さん一体どうやって弾くのか楽しみです。難しい曲ですよ、本当に。

### 第6回はもちろん舞台上で参加されると思います。コンサートマスターとしてコンクールに臨まれる想いをお聞かせください。

これまでの入賞者の上に行く様な素晴らしいスーパースターが生まれることを心から楽しみにしています。ホストオーケストラとしては、出場者に100%、いやそれ以上の力を出してもらえようような演奏をしていきたいと思っています。

### 最後に次回、第6回に向けて、ボランティアや聴衆へのメッセージをお願いします。

出場者の皆さんには様々なプレッシャーや緊張感があると思います。仙台のボランティアの皆さんはそのことをすごく理解して、温かいもてなしをしていることを本当に素晴らしいと思います。次回も出場者が上手に弾けるための環境づくりはもちろん、精神面でもサポートしてもらえたらと思います。前回、聴衆の皆様からの拍手やブラボーが多く、とても良かったですね。コンクールの時にブラボーなんてしていいのかなと思ってた方もいらっしゃるかもしれませんが、私は自分が受けていたら絶対してほしいです。若い出場者の「自分は演奏家としてやっていく」という決意に対して大きな励みになりますので、ぜひ温かい拍手をお願いします。

お忙しい中、お時間を作っていただいた神谷さん、ありがとうございました。

## 第6回仙台国際音楽コンクール（略称「SIMC」） 開催要項が発表されました！

2015年1月22日（木）、第6回仙台国際音楽コンクールの開催要項が発表されると同時に東京で発表記者会見が開催されました。記者会見ではコンクール運営委員長の海老澤敏さん、ヴァイオリン部門審査委員長の堀米ゆず子さん、ピアノ部門審査委員長の野島稔さん、仙台市を代表して稲葉副市長も出席され、第6回コンクールの開催内容全般が発表されました。同時にこの日より、出場者募集が開始されています。

仙台国際音楽コンクールは3年に1回、ヴァイオリン部門とピアノ部門の2部門で行われます。コンチェルト（協奏曲）を課題曲の中心に据えるという特色を持ち、若い音楽家がオーケストラと共演する演奏が審査されます。コンクールは書類とDVD等の動画による予備審査、そして日立システムズホール仙台で行われる予選（各36名程度）、セミファイナル（各12名）、ファイナル（各6名）という構成になっており、セミファイナル以上は全てオーケストラ（仙台フィルハーモニー管弦楽団）との共演となります。予選以降は全て公開で行われ、出場者の熱演が仙台内外から訪れた多くの聴衆の感動を生んできました。このコンクールのもう一つの特徴は、その運営が多くの市民ボランティアに支えられていることです（詳しくは本紙3ページをご覧ください）。また、コンクール開催中の仙台市内では出場者によるコンサートや審査委員によるマスタークラスなど、関連企画も数多く開催され、多くの市民がクラシック音楽を楽しみ、世界レベルの音楽家と交流を図る貴重な機会となっています。

### 【第6回仙台国際音楽コンクール スケジュール】

出場申込期間 2015年1月22日（木）～11月16日（月）  
予備審査結果発送 ～2016年2月15日（月）  
■ヴァイオリン部門  
2016年5月21日（土）～6月5日（日）  
■ピアノ部門  
2016年6月11日（土）～6月26日（日）  
会場 日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）

来年2016年に行われる第6回仙台国際音楽コンクールの特徴は次の通りです。

- ・新しいヴァイオリン部門審査委員長に世界的なヴァイオリニスト堀米ゆず子さんが就任しました。
- ・両部門とも、ファイナルラウンドの審査は3日間となり、ファイナリストは2曲の協奏曲を演奏します。
- ・第1回仙台国際音楽コンクール、ヴァイオリン部門優勝者のホアン・モンラさんが審査委員に就任しました。
- ・オーケストラの指揮は、ヴァイオリン部門は広上淳一さん（京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージックアドバイザー）、ピアノ部門はバスカル・ヴェロさん（仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者）が担当します。
- ・ヴァイオリン部門予選の室内アンサンブル（指揮者なし）は、仙台フィルハーモニー管弦楽団と山形交響楽団メンバーが担当します。



審査委員に就任した第1回  
ヴァイオリン部門優勝者  
ホアン・モンラさん

### 【審査委員】

#### ■ヴァイオリン部門

委員長 堀米 ゆず子（日本）＊  
副委員長 堀 正文（日本）＊  
ロドニー・フレンド（イギリス）＊

ボリス・ベルキン（ベルギー）＊  
マウリシオ・フックス（カナダ）＊  
ホアン・モンラ（中国）＊  
加藤 知子（日本）＊予選、セミファイナル＊  
ヤンウク・キム（アメリカ）  
ギドン・クレーメル（ラトビア）＊ファイナル＊  
チョーリヤン・リン（アメリカ）  
レジス・パスキエ（フランス）＊  
竹澤 恭子（日本）＊

#### ■ピアノ部門

委員長 野島 稔（日本）  
副委員長 植田 克己（日本）  
エリソ・ヴィルサラゼ（ロシア）

アンドレア・ボナッタ（イタリア）＊  
ダン・タイ ソン（ヴェトナム）  
リチャード・ダイヤー（アメリカ）＊  
リュウ・シコン（中国）＊  
エヴァ・ポプウォッカ（ポーランド）  
マッティ・レカッリオ（フィンランド）＊  
ブルーノ・リグット（フランス）＊  
ミヒヤエル・シェーファー（ドイツ）＊  
（＊は新規就任）



（左から）野島委員長、海老澤運営委員長、  
稲葉副市長、堀米委員長

### ～ボランティアがおすすめする今回の聴きどころ～

今回第6回の聴きどころは何といっても両部門のセミファイナルだと思います。

ヴァイオリン部門では、新審査委員長の堀米ゆず子先生が「心に響く音楽を聴かせてくれる人を見出したい」と特別な想いで課題曲に選ばれたシューマンのヴァイオリン協奏曲をセミファイナリスト全員が競演します。

ピアノ部門ではベートーヴェンの全く性格の異なるピアノ協奏曲第3番と第4番の選択制。審査委員長の野島稔先生がこだわりを持って選択したこの2曲のうち、自分に適したどちらを選ぶかも勝敗のカギを左右しそうです。

ファイナルはヴァイオリン部門が有名なメンデルスゾーン協奏曲とロシアものの協奏曲（1曲選択）の2曲、ピアノ部門ではモーツァルトの中期協奏曲（1曲選択）と高度な技術が必要なベートーヴェンからプロコフィエフまでの協奏曲（1曲選択）の2曲が演奏されます。コンクールではラウンドが進むに従って、日に日に熱を帯びていき、ファイナルでは会場全体が大きな感動に包まれます。通常のコンサートとは全く異なる高潮した空気を経験したら、あなたも3年に一度のコンクールを心待ちにするようになるでしょう。

（広報宣伝サポートボランティア 岡）

なお、課題曲などさらに詳しい実施要項は仙台国際音楽コンクールの公式ホームページ<http://www.simc.jp/> でご覧になれます。

## あなたも仙台国際音楽コンクールを 応援してみませんか？ (SIMCボランティア各部門紹介と体験談)

### ☆会場運営サポート部門☆

(仙台国際音楽コンクール・仙台クラシックフェスティバル  
会場運営ボランティア)

コンクール開催期間中や関連  
事業などで、受付や案内誘導  
などを行う部門です。おもて  
なしの心を持って笑顔で接し、  
「仙台クラシックフェスティ  
バル(せんくら)」でも活躍  
しています。



お客様へお席のご案内

同じ目的を持つ仲間と協力し合い、無事に活動が終了したとき、大変充足感を感じました。お客さまに「ありがとう」と声をかけていただいたときも嬉しかったです。まずは経験することが大切なので、マニュアルをよく読み込んで、必要箇所はメモを取って持ち歩くなど自分なりに工夫をしています。(女性 60代 パート)

ボランティアを通して、たくさん方と繋がることができたこと、国際コンクールという大舞台に関わることができたことが嬉しかったです。最初は不安だと思いますが、先輩ボランティアの方々がフォローしてください。緊張もしますが、事前に資料を見直して、当日の動きをイメージするようにしています。(女性 20代 大学職員)

### ☆広報宣伝サポート部門☆

仙台国際音楽コンクールを多くの人に知ってもらうためのPR活動を行う部門です。ボランティアの視点で編集した広報紙「コンチェルト」の発行、初めて仙台を訪れるコンクール出場者などにお渡しする仙台を紹介する「Map for SIMC Contestants」の作成ほか、ブログを使った情報発信も行っています。



編集会議の様子

コンクール期間外でも取材や編集会議などの活動があります。仕事や学校では知り合えない人たちと世代を超えて協力して紙面を作ること、コンクールの舞台裏を覗くことができると楽しいです。(女性 30代 会社員)

クラシック音楽に関わる情報が入ってくること、クラシック音楽に関わる活動ができます。積極的に活動すれば、より多くの経験と知識と友人を得ることができると思います。(男性 60代)

仙台国際音楽コンクールは、地域とともに歩み、4部門に分かれたボランティアが組織され、それぞれの部門でコンクールをより充実させるための活動が続けられています。

2016年に開催される第6回のコンクールに向けて、一緒に活動して下さる新規ボランティアを募集しています！！新しい音楽との出会いやコンクールが数倍楽しくなるかもしれません。皆様の参加を心よりお待ちしております。

### ☆出場者サポート部門☆

世界各国から仙台に集まる出場者たちに寄り添って、仙台滞在期間をより有意義なものにしてもらうために、幅広い活動を行っています。

コンクール関連事業や練習会場での通訳、出場者の休憩スペースであり、来場者との触れ合いの場でもある「交流サロン」の運営、仙台滞在の情報サポートとともに、日本や仙台の文化を紹介する催しも開催しています。



出場者の日本文化体験

多くの人と知り合うことができたことが最大の収穫です。音楽会などに出かけても、顔見知りの人に出会い、気軽に会話できるようになりました。「その場、その場で自分にできる最善のことをしよう」と心がけながら活動しています。(男性 70代)

開催地の一市民として、微力ながらもコンクールに関わることができるとの充足感があり、やりがいを感じます。研修会、勉強会もありますので、安心して活動に参加することができますよ。外国語ができる方もできない方も大歓迎です。笑顔での挨拶と温かなサポートができることを目指しています。(女性 50代 主婦)

### ☆ホームステイ受入れ部門☆

コンクール終了までの期間、出場を終えた出場者を家庭に受け入れる部門です。海外からの出場者だけでなく、日本在住の出場者たちもホームステイします。国際交流と共に、出場者との絆を深める時間を過ごすことができます。



出場者との記念写真

開催期間外のミーティングで様々な作業をしますが、ホストファミリー同士での絆や安心感が生まれます。張り切りすぎると空回りも多くなるので、自分の背丈で自然な取り組みを。私の家にホームステイした出場者たちが海外で知り合って同時に私にメールをくれたりしたことの良い思い出です。(女性 70代)

「家族が増えた喜び」を実感することができます。日本にやってきた不安を少しでも軽減し、最高のパフォーマンスをしてもらえよう「日本のパパ、ママ」の気持ちで接しています。英語はできませんが、心は必ず伝わります。現在でも彼らとの交流が続いています。(女性 30代 主婦)

## ★仙台国際音楽コンクールボランティア募集概要と活動説明会のご案内★

### 【募集概要】

■募集対象：15歳以上の方（中学生を除く）で原則として第6回コンクール終了まで活動可能な方  
(2015年4月1日現在18歳未満の方は保護者の同意が必要です)

### ■ボランティアの申込方法

申込書に必要事項を記入の上、郵送、Faxにて下記申込先まで提出してください。申込書は問合せ先にご請求ください。また、仙台市内の主な施設に配置しています。また、4月中旬には、公式サイトからの申し込みも可能となります。

■ボランティア申込期限：2015年6月30日(火) 必着

### 【ボランティア活動説明会】

・日時：2015年6月12日(金) (1) 19:00~20:30  
2015年6月13日(土) (2) 10:30~12:00  
(3) 14:00~15:30

※(1)~(3)のいずれか1回ご参加ください(3回とも説明内容は同じです)  
※説明会への参加方法：直接会場にお越しください(事前申込み不要)

・会場：日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)  
2階交流ホール<(1)~(3)とも>

■申込・問合せ先：〒981-0904仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

仙台市市民文化事業団コンクール推進課(仙台国際音楽コンクール事務局)

[Tel] 022-727-1872 [Fax] 022-727-1873 [公式サイト] <http://www.simc.jp/> [E-mail] [info@simc.jp](mailto:info@simc.jp)



## 仙台国際音楽コンクール優勝記念CD発売中！

2013年に開催された第5回仙台国際音楽コンクールで優勝されたヴァイオリン部門のリチャード・リンさんとピアノ部門のソヌ・イエゴンさんのCDが、昨年12月に発売されました。

リチャードさんは、強い思い入れを感じているというブラームスのソナタ全曲を、一方ソヌさんは、難曲といわれるラフマニノフのソナタ第2番、リストの「シューベルトの歌曲によるトランスクリプション」など優勝記念リサイタルで演奏した作品を中心に選曲され、仙台で新たにレコーディングされたものです。

### 躍動感と才能が溢れるヴァイオリンの音色 リチャード・リンさん



■リチャード・リン (ヴァイオリン)  
[FOCD9653]  
＜収録曲＞  
ブラームス：  
ヴァイオリン・ソナタ  
第1番 ト長調 op.78 「雨の歌」  
ヴァイオリン・ソナタ  
第2番 イ長調 op.100  
ヴァイオリン・ソナタ  
第3番 二短調 op.108  
(ピアノ：ロバート・リン)

■発売日：2014年12月3日(水)  
■金額：各2,592円(税込)

■発売元：株式会社フォンテック  
■制作：公益財団法人仙台市民文化事業団

### 普遍性を持ったピアノの音色を聴かせてくれる ソヌ・イエゴンさん



■ソヌ・イエゴン (ピアノ)  
[FOCD9654]  
＜収録曲＞  
ラフマニノフ：ピアノ・ソナタ 第2番  
変ロ短調 op.36 (1931年版)  
リスト：シューベルトの歌曲による  
トランスクリプション  
連弾 S562-1  
糸を紡ぐグレートヒェン S558-8  
水によせて歌う S558-2  
セレナーデ S560-7  
魔王 S558-4  
シューベルト：幻想曲 八長調 D760  
「さすらい人幻想曲」  
ラヴェル：ラ・ヴァルス



## 仙台国際音楽コンクールを支える大きな力 仙台フィルハーモニー管弦楽団をもっと知ろう！【1】



仙台フィル マスコット・キャラクター  
©MIKIO IGARASHI/S.P.O



仙台フィル事務局演奏事業部長  
村上満志さん

第6回コンクールでの仙台フィルは「予選」では山形交響楽団と共に室内アンサンブルで、「セミファイナル」・「ファイナル」ではオーケストラとして出場者の演奏を支えてくれます。先日、仙台フィル事務局演奏事業部長の村上満志(むらかみ みつし)さんにお話を伺いました。村上さんはオーケストラ事務局として仙台フィルの演奏活動全般の調整役をされています。元は仙台フィルの首席コントラバス奏者として、コンクールの出場者たちと共に共演し、関わってこられたことを次のようにお話しくださいました。

♪世界から集まる、若く才能溢れる演奏家との共演は、オーケストラのメンバーにとっても大きな刺激を受ける得難い機会です。出場者達は「神様から多くの才能を授かった」と思わせる人達の集まりですので、それぞれに楽譜からは想像を越えるような音楽を聴かせてくれます。それはまるで「無」から「有」が生まれるような驚きです。

♪そのように内容の充実したコンクールが行われている訳ですから、ぜひもっと多くの方々に聴いて頂きたいです。その為にはメディアの力などをお借りしてクラシック音楽の「ムーブメント」のようなものが起これば良いなと思っています。

♪また、このコンクールでは多くのボランティアの方々が運営を支えてくださっています。このことは、仙台国際音楽コンクールの特色でもある「アットホームな雰囲気」を作る上で大きな力になっていると思います。

### ♪ 編集後記 ♪

仙台国際コンクールの応援団であるボランティアの各部門代表の方々への取材。それぞれの部門の人々の「おもてなしの心」や「創意工夫」、「人と人との絆」が感じられて感激。新しいボランティア仲間ができることを願っています！(kuri)

仙台フィルを率いる舞台上の神谷さんも魅力的ですが、子供さんの話題に触れたときのこぼれた笑顔の神谷さん、とても素敵なお母さんの顔でした。(吾)

審査委員長にいつも仙台を気に懸けてくれる堀米先生をお迎えして嬉しいです。宗先生のスピーチが聞けないのは寂しいけれど。(岡)

冬が来ると思い出します。坂の多い八木山に、毎朝、積雪が無いことを願っています。でも、東西線開業となる12月6日以降は、この心配もなくなります。(清)

第6回コンクール出場者の募集が始まりました。多くの方にコンクールを楽しんでいただけるよう情報発信していければと思います。(事務局 松)

早くも来年は第6回のコンクール！本紙も新コーナーを含めより充実するよう一同がんばります。(三)

初めてのコンチェルト執筆参加の苦が、形式が分からず別の方に助けていただいていたしました。場数を踏んでいきたいです。(ま)

いよいよ第6回コンクール広報の第一歩を踏み出しました。本番は1年以上も先ですが、次はどんなコンテスタント達が仙台に集ってくれるのか今から楽しみです。(川)

## 発行：第6回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア